News Letter

ニュースレター



2022年12月26日



「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約締結について ~株式会社フローラのサステナブル経営をサポート~

名古屋銀行(頭取 藤原 一朗)は、株式会社フローラ(代表取締役 鈴木 智)と「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の契約を締結いたしましたのでお知らせします。

当行は、今後もグループー体となり、銀行の既存のビジネスモデルに捉われない持続可能な収益機会の創出及び付加価値の高いサービスを提供し、さまざまなお客さまの経営課題解決を通じて地域社会とともに未来を創造してまいります。

記

- 1. 契約締結日 2022年12月26日(月)
- 2. 融資金額 50百万円
- 3. モニタリング期間 5年
- 4. 資金使途 事業資金
- 5. PIF 評価書 添付資料をご参照ください

※株式会社格付投資情報センター (R&I) のセカンドオピニオンは、下記 URL をご参照ください。 https://www.r-i.co.jp/rating/esg/index.html

6. 株式会社フローラの概要

代 表 者	鈴木 智
本社所在地	愛知県名古屋市中川区中花町 37 番地
業種	社会福祉事業
設立年月日	2013年6月4日

<記念盾贈呈式の様子>

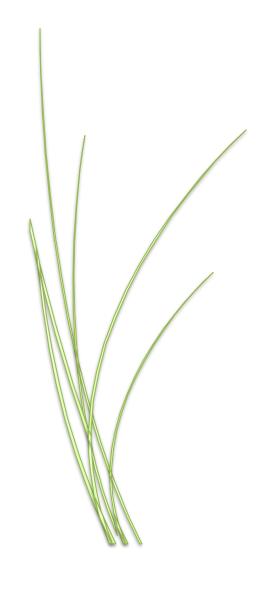


株式会社フローラ 代表取締役 鈴木 智 氏 株式会社名古屋銀行 上前津エリア エリア長 兼 上前津支店長 清水 貞晴

※写真撮影時のみマスクを外しております。

参考:「めいぎんポジティブインパクトファイナンス」の取り扱い開始について https://www.meigin.com/release/files/20220111meigin PIF.pdf

ポジティブインパクトファイナンス評価書 ~ フローラグループ ~



2022 年 12 月 26 日 株式会社名古屋銀行 法人営業部 法人コンサルティンググループ



はじめに

株式会社名古屋銀行は、株式会社フローラに対し、めいぎんポジティブインパクトファイナンス(以下、めいぎん PIF)を実行した。

本件取組にあたって、株式会社名古屋銀行は国連環境計画金融イニシアティブ(以下、UNEP FI という。)が策定した「ポジティブインパクト金融原則」及び、環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り、株式会社フローラの企業活動における包括的なインパクトを分析し、充実したサステナビリティ経営に向けた KPI を設定した。

借入人概要

借入企業	株式会社フローラ
所在地	名古屋市中川区長良町5丁目104-2
従業員	67 名 ※2022 年 11 月末時点
売上高	50 百万円
事業内容	就労継続支援A型事業

融資条件概要

融資形態	証書貸付
融資金額	50, 000, 000 円
資金使途	運転資金
融資期間	5年



目次

1.	企業情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
	① 会社概要
	② 組織図
2.	事業内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
	① 多機能型事業所「フローラ」「F-Gene」
	② 共同生活援助 (グループホーム)「らいふはうす」
	③ カフェ&ドッグラン「FLAT」
3.	その他の活動・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9
	① プログラマー育成会
	② 表彰制度
	③ イベント交流
	④ SDGs 宣言
4.	インパクトの特定・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12
	① インパクトマッピングによるインパクト分布
	② インパクト分布図
	③ 国内のインパクトニーズ
5.	測定する KPI・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・16
	・ポジティブインパクトの拡大
	・ネガティブインパクトの縮小
6.	インパクト管理体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
7.	モニタリング方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17
8.	総括・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・17



1. 企業概要



株式会社フローラホールディングス 株式会社フローラ

① 会社概要

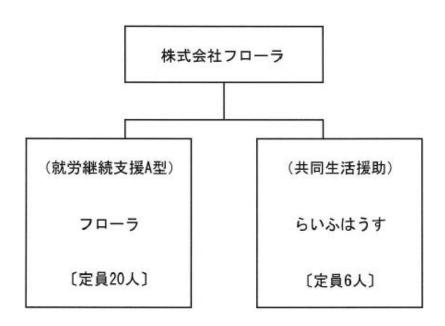
会社名	株式会社フローラ
設立年月	2013年6月4日
代表取締役	鈴木 智
本店所在地	愛知県名古屋市中川区中花町 37 番地
従業員数	67 名 ※2022 年 11 月 30 日時点
決算日	5月末日
関連会社	株式会社フローラホールディングス







② 組織図

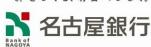


株式会社フローラにて就労継続支援A型施設「フローラ」と共同生活援助施設 (グループホーム) 「らいふはうす」を運営している。また、新たなチャレンジとして 2022 年 8 月にカフェ&ドッグラン「FLAT」を本社ビルにて開店し、地域住民に落ち着いた空間を提供している。

なお、関連会社である株式会社フローラホールディングスにて、就労継続支援B型施設「F-Gene」を 運営している。

③ 沿革

2013年6月	株式会社フローラ 設立
2013年9月	就労継続支援A型(フローラ) 認可
2017年6月	障害者プログラマー育成会 発足
2018年10月	共同生活援助(グループホーム) 認可
2019年3月	株式会社フローラホールディングス 設立
2019年5月	就労継続支援B型(F-Gene) 認可
2022年6月	IT部門 開発業務委託契約締結
2022年7月	新社屋完成
2022年7月	株式会社フローラ、株式会社フローラホールディングス 本社並びに就労継続支援A型 新社屋に移転
2022年8月	DOG-CAFÉ & DOG-RUN FLAT オープン



2. 事業内容

① 就労支援事業所「フローラ」「F-Gene」









障害や難病のある方が雇用契約を結んだ上で一定の支援がある職場で働くことができる福祉サービスである就労継続支援A型(定員20名)を㈱フローラにて運営し、障害や難病のある方のうち体力や年齢などの理由から雇用契約を結んでの労働が困難な方を対象に職業訓練サービスを提供する就労継続支援B型(定員20名)の事業を㈱フローラホールディングスにて運営している。

A型の特徴として、基本的に雇用契約によって就労時間が定められており、利用者同士が協力し合いながら終業時間まで作業をする点が挙げられ、個人個人に合った支援を行うことで、一般の会社と変わらない働き方を提供することが可能である。

一方、B型は時給が発生するA型と異なり、生産した成果物に対する「工賃」が利用者に支払われ、 雇用契約を結ばないので、年齢制限がなく体調や障害状況に合わせた働き方を選択できることがメリットであり、共同作業が困難な方にはひとりで行う作業を提供している。

当社の利用者が取組む作業内容は、一般的な軽作業や清掃作業に加えて、飲食の接客や雑貨販売、イラスト・絵画制作、さらにはプログラミング等のIT関連業務まで幅広く選ぶことができ、数多くの「きっかけ」と「選択肢」を提供できる体制が整っている。

業界内では珍しい IT 部門については、名古屋市内の IT 企業とアプリなどの開発業務委託契約を締結し、業務として一部を受託するとともに、後述のプログラマー育成会を共同で立ち上げ人材育成にも力を注いでいる。

●作業請負、施設外就労





業務受託会社から委託を受け、利用者の特性に合わせ仕事内容を割り振り、監督指導を行っている。具体的な業務内容としては、タオル折りや封筒封入といった軽作業請負、ホテルのベッドメイキングを中心とした施設外就労を営んでいる。

●雑貨制作、販売







イベントや市役所にて、弊社利用者が実際に接客しながら制作したオリジナルの雑貨を販売している。雑貨はトートバッグやポシェットといった布製品、ピアスなどのアクセサリー、手作りマスクなど多岐に渡って制作しており、利用者が直接布地に手描きイラストを加える1点ものは特別感があり、顧客からも高い評価を獲得している。



●オリジナルシステムの活用





自社のIT部門にて就労支援業務における独自システムを開発し、利用者情報や相談支援記録、従業員管理、勤怠管理等を一括管理している。自社に適したシステムを使用することで、効率的に情報の即時反映および共有化が図られ、効率的な業務運営が成されている。

② 共同生活援助 (グループホーム)「らいふはうす」







グループホーム「らいふはうす」は、障害を持つ人たちが生活上必要な支援を受けながら、少人数で共同生活を送るためのシェアハウスであり、障害や難病の抱える方の自立を目的とし、フローラのスタッフがサポートに付くことによって、一人暮らしの不安を解決することを目的としている。就労継続支援サービスの利用者の受入れは勿論、フローラ利用者以外の障がい者も利用が可能である。



③ カフェ&ドッグラン「FLAT」







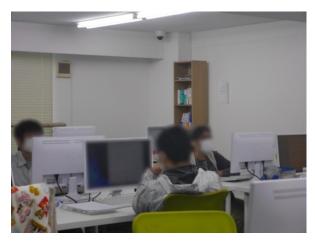


2022年8月、本社ビル1階にドッグカフェを開店し、屋上にはドッグランを設置、地元住民に落ち着いた空間を提供している。なお、カフェの目玉商品は「糸ピンス」と呼ばれる韓国発の新食感かき氷で、従来のかき氷とは全く違うケーキのような見た目と優しいくちどけが好評を得ている。

また、カフェには雑貨ブースも併設しており、就労支援事業利用者により制作された個性豊かなグッズを販売、他事業との相乗効果を創出している。

3. その他の活動

① プログラマー育成会





当社は、複数の福祉施設が合同で研修を希望する利用者に対し、プログラマーになるために必要な知識面のサポートを積極的に行う「障がい者プログラマー育成会」を行っている。IT 技術は日々進歩し続けている独学困難な I T技術・知識について、業界で活躍している IT 企業が作成したプログラマー育成カリキュラムにより、受講者の疑問やつまずきを一緒に解決しながらスキルアップを目指している。

当カリキュラムでは、受講者に同じ内容の課題が配布されるが、全員が同じペースで学習することを目的としておらず、事前知識の有無や理解力の違いによって、個々が自分のペースで学習を行い、より良い成長に繋がるような構成を組んでいる。

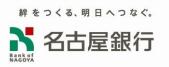
この育成会の開催は年々高まっているIT人材の需要増加に対応するとともに、利用者に新たな選択 肢を与え、更なる成長を促すきっかけとなっている。

② 表彰制度

株式会社フローラ 令和4年度 後期部門発表会。 【部門発表会について】。 部門発表会は毎年2回(春・秋)行われ、当社の就労継続支援A型において、各部門で実 績のあった利用者さんを発表・表彰する会です。今回は新型コロナウイルス対策のため、1 階と2階に分かれ、2つの部屋をZoomでつないで行います。。 日時: 令和4年10月15日(土) 11:00~12:00 会場:株式会社フローラ 中花町本社。 IT·雑貨部門:2F休憩室。 軽作業・ホテル清掃部門:1F会議室。 参加者: A型利用者 40 名、職員 13 名 (うち、ろう者 11 名)。 【式次第】。 ~一般表彰の部~。 皆勤賞。 社長賞。 ~特別表彰の部~。 3年皆勤賞。 5年皆勤賞。 配布物・連絡事項ほか



当社では、一か月間規定日数・規定時間働くと皆勤手当が給付される皆勤制度や、一定期間中に技術面だけでなく、さまざまな側面を考慮したうえで活躍した利用者を表彰する制度を導入しており、利用者の労働意欲向上に繋げている。当社は「働く人材の意欲によって企業の価値が左右される」との考えを明確に持っており、モチベーションを維持/向上させるための施策を積極的に取り組んでいる。



③ イベント交流

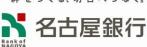






活力の向上と利用者間の円滑なコミュニケーションの促進を目的として、当社では定期的に参加型のイベントを企画している。昨年からは、韓国の同業企業に所属する利用者と E-Sports で対戦をする国際大会を開催しており、参加者を含む利用者より好評を得ている。

「非日常的な体験」と「チームで目標を持つ楽しさ」について、本イベントにより感じてもらうことで、更なる組織活性化と労働意欲の向上に繋がっている。



④ SDG s 宣言

株式会社フローラ SDGs宣言

当社は国連が提唱する「持続可能な開発目標 (SDGs) に賛同し、 SDG s の達成に向けた取組みを行っていく事を宣言します。

2022年4月1日

株式会社フローラ 代表取締役 鈴木 智

障がい者プログラマー育成会を通じて、受

講者さま各々のペースにあった学習を提供

することで、社会に必要とされる技術者を

育成し、IT人材不足を解消して持続

可能な経済成長に貢献してまいります。

8 働きとライフイベントの共存

ドッグカフェの運営により、障がい者の雇用

の受け皿と多様性のある働き方を実現し、

働きがいのある職場環境を整備すると共

に、当社で働く全ての方々の健康で豊か

IT技術者を育成

■具体的取り組み

・ステップアップ方式の導入

・独自カリキュラムの開発

な未来を創造してまいります。

·育児休暇、介護休暇の推進

勤務先、勤務時間の柔軟な対応

■具体的な取組み

SDGs の達成に向けた取組み

暮らしを通じた自立を

グループホームの運営を通じて、利用者さ まとそのご家族さまが安心安全な住環境 を整備し、自立に向けた「生きがい」を創 造していくことにより、持続的に自立支援を サポートしてまいります。

- ■具体的な取組み
- ·日常生活·自立生活の援助
- 「生きがい」を見出すためのイベント開催











環境と資源を大切に

食品ロス問題に積極的に取組み、不要な 食材廃棄が起こらない工夫を施すと共に、 省エネ化・省資源化によるエコ対策を進め ることで、限りある地球環境の保全に貢献 してまいります。

- ■具体的な取組み
- ・クックチル、クックフリーズ食品の利用
- ·LED化·適正温度管理の推進





SUSTAINABLE GOALS



SDGsとは

2015年9月、国連本部において「国連技術可能な開発サミット」が開催されました。

その成果文書として「我々の世界を変革する:持緒可能な開発のための2007ジェンダ」が加盟190ヶ国の全会一致で解釈され、「持続可能な開発日標



当社は事業活動を通じて、利用者の持続的な自立支援を行っていくとともに、社会的に必要とされる IT 人材の育成、食品ロス問題への対応、従業員・利用者が働きやすい環境づくりを行っていくことを宣 言しており、今般のめいぎんポジティブインパクトファイナンスについても、インパクト分析を踏まえ、

SDGs宣言と共通した分野でのKPIを設定する。





4. インパクトの特定

①インパクトマッピングによるインパクト分布

名古屋銀行は事業性評価におけるビジネスモデル (非開示) により株式会社フローラの主要、関連業種を特定し、UNEP FI が推奨するインパクトマッピングからポジティブインパクト及びネガティブインパクトの分布を調査した。株式会社フローラの業種カテゴリは多岐に渡る為、分布図は主要業種の掲載に限定する。

分布図中の「★★」は重要な影響があるカテゴリ、「★」は影響があるカテゴリを示す。株式会社フローラの事業活動については「★★」「★」の影響をすべて検討する。

川上・川下の事業活動については、一般個人が対象または事業規模に対してインパクトが僅少であるため、特段の分析は不要と判断し、検討対象からは除外している。よって、株式会社フローラ自体の事業に関するインパクト分析のみ行うものであるが、分析の対象となる事業活動がインパクトマッピングの業種分類に含まれる特定の事業の場合、当該事業とは無関係なインパクトカテゴリについては検討しない。



②インパクト分布図 (掲載は主要業種のみ)

・ 当社の事業

	同社事業									
	[87	'20]	[87	'30]	[87	'90]	[88	10]	[56	29]
インパクトカテゴリ	知的障害、 び物質乱用 アサービス	者用居住ケ	高齢者・障 ケアサービ		その他の居ビス業	住ケアサー	宿泊施設の障害者向け	ない高齢者・ 社会事業	その他の	D飲食業
	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative	Positive	Negative
	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ	ポジティブ	ネガティブ
水(入手)										
食料									*	
住居	*		*		*					
健康・衛生	*	*	*	*	*	*	*		*	
教育										
雇用	**	*	**	*	**	*	**	*	*	*
エネルギー										
移動手段										
情報										
文化・伝統										
人格と人の安全保障	*	*	*	*	*	*	*			
正義										
強固な制度・平和・安定										
水 (質)										
大気										
土壌										
生物多様性と生態系サービス										
資源効率・安全性										
気候										
廃棄物		*		*		*		*		*
包括的で健全な経済										
経済収束										

当社の事業におけるインパクトについては上記の通りであり、『食料』『住居』『健康・衛生』『雇用』『人格と人の安全保障』についてポジティブインパクトが確認された。

利用者のことを第一に考え、一人ひとりの「働きたい」という思いを実現することを社会的使命と考えている当社の強みは、利用者が選択できる職種を多く取り揃えている点である。業界内で一般的に多い『軽作業』に留まらず、『接客業』『雑貨制作・販売』『イラスト・絵画制作』『プログラミング等のIT関連業務』等の職種から、利用者が自身の強みを活かせることを選択でき、結果として労働意欲の向上と効率的育成が図られるとともに、新たな利用者獲得に繋がっている。

上記のような取組は、前職にて主に人材管理に携わっていた当社代表取締役である鈴木氏が、労働意欲 向上と育成を特に重要視していることが影響しており、今後とも対応職種の幅を拡大し、社会的不足感 のある福祉分野に対する貢献度を高めていく方針である。



また、事業多角化に繋がるドッグカフェの運営はインパクト範囲を拡大させることに加えて、経営リスクの分散、及び就労支援事業施設利用者により制作された雑貨の販売や、接客スタッフとしての活用により相乗効果創出に寄与している。

一方で、ネガティブインパクトについては、『健康・衛生』『雇用』『人格と人の安全保障』『廃棄物』『包括的で健全な経済』の分野で確認された。これらについては、従業員および利用者との対話やイベント交流によりコミュニケーションを深めることでリスク回避に努め、廃棄物の適正処理や環境関連の法令順守等を行うことで、ネガティブインパクト縮小を図っていく。



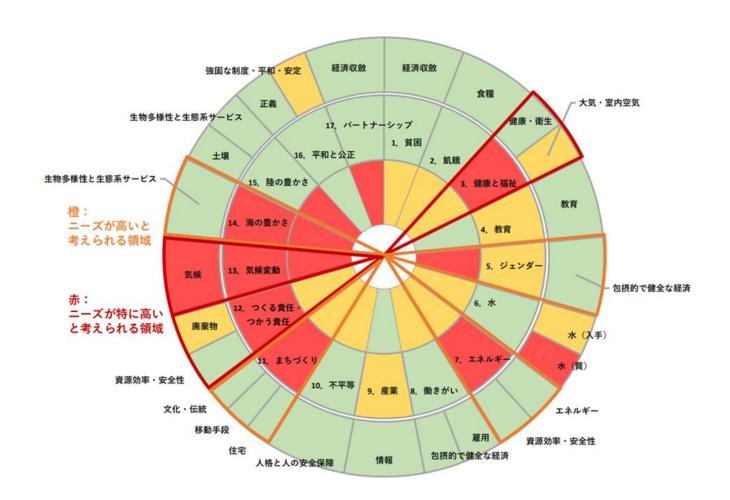
尚、特に重要なインパクトカテゴリと対応する SDG s のゴールは、下記の通りである。 ※対応する SDG s のゴール



③国内のインパクトニーズ

環境省が策定した「インパクトファイナンスの基本的考え方」における国内のインパクトニーズは下記の図によって表される。特に取り組むべき SDGs を赤色、取り組むべきであるが不十分な SDGs を黄色、その他を緑色としているものである。

名古屋銀行が特定した株式会社フローラのインパクトと対応する SDGs のゴール「3、4、12」について、赤色もしくは黄色のゴールに該当するものとなっており、国内のインパクトニーズとの整合的である。





5. 測定する KPI

① 社会的なニーズにも対応した人材育成 (ポジティブ拡大)

項目	内容
インパクトの種類	社会面でポジティブインパクトを拡大
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「雇用」「人格と人の安全保障」
関連するSDGs	3 まべての人に 4 質の高い教育を 8 働きがいら 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2
対応方針	社会的に求められているIT人材の育成とIT関連受注増加、人材育成支援
KPI	・社内で育成したプログラマーが、当社IT人材のうち50%となるようにする(実績開示) ・2027年度のIT関連の受注件数を2022年度対比200%にまで増加させる(実績開示) ・外部研修に年間2回以上行けるよう支援する(実績開示)

② 労働環境の整備(ポジティブ拡大)

項目	内容
インパクトの種類	社会面でネガティブインパクトを縮小
インパクトカテゴリ	「健康・衛生」「雇用」
関連するSDGs	3 すべての人に 8 働きがいも 経済成長も
対応方針	安心安全な職場環境
KPI	・残業時間ゼロを維持する(実績開示) ・労働災害件数ゼロを維持する(実績開示)

③ 環境への配慮(ネガティブ縮小)

項目	内容		
インパクトの種類	環境面でのネガティブインパクトを縮小		
インパクトカテゴリ	「気候」「廃棄物」		
関連するSDGs	12 つくる責任 13 X税支配に 14 X税		
対応方針	食品ロスの削減、CO2排出量の削減		
KPI	・2027年度末までに、送迎車を全て電気自動車またはハイブリッド車へ切り替える(実績報告) ・クックチル・クックフリーズ食品を活用し、フードロス問題への取組みを促進する(内容報告)		



6. インパクトの管理体制

株式会社フローラは鈴木代表取締役を中心としてサステナビリティ経営充実の為の施策を各事業部及 び法人本部が連携してSDGsの施策を検討・実施・検証する体制が整っている。

めいぎん PIF におけるインパクトについては、鈴木代表取締役が中心となり、管理・達成へ向けた施策を実施する。

インパクト管理者

最高責任者	代表取締役	鈴木	智
-------	-------	----	---

7. モニタリング方法

株式会社フローラに対するめいぎん PIF のモニタリングは、インパクト管理者と名古屋銀行の担当者 (法人営業部サステナビリティ推進担当及び営業店担当者)により年1回以上の協議を通して実施する。 年1回以上の協議は、下記のプロセスで行われる。

項目	内容
1. 内容報告・実績開示	設定した KPI の達成度を確認する。
2. 検証・精査	達成度について開示された情報を名古屋銀行が確認する。
3. 修正の検討	達成度・進捗度を検証し KPI の修正を検討する。
4. 追加の検討	形骸化を防ぐ為、KPI の追加や削除を検討する。

名古屋銀行は上記のプロセスにおいて、自行のサポート及びアドバイスを実施する。また、モニタリング実施状況については、株式会社格付投資情報センターに対し、包括的な年次レビューを受ける。

8. 総括

株式会社フローラの事業内容及びインパクト調査の結果、手がける事業それぞれにポジティブ及びネガティブな影響を確認した。株式会社フローラが KPI 達成を目指すことで社内、地域社会への大きな貢献が想定され、UNEP FI の「ポジティブインパクト金融原則」、ESG及びSDGsの観点からも十分な適合性を確認した。